



## 竹の子川柳会

おにごっこだれがおにだか分からぬ

小学校三年生

遠足でわくわくしすぎねつが出た

小学校三年生

じゅぎょう中みんな静かでありやすい

小学校三年生

遠足でみんなで行ったにじの森

小学校四年生

鬼北町コロナに負けずがんばろう

小学校四年生

まがり角先には何があるのかな

小学校五年生

遠足の行き先なんと鬼北町

小学校六年生

鬼が来て泣いてた昔思い出す

小学校六年生

犬猿の友との写真笑みこぼれ

中学校三年生

びっくりだ曲がった瞬間人がいた

高校一年生

もう一度みんなでしたい鬼ごっこ

高校一年生

遠足で皆と作る思い出を

高校二年生

## ひよし川柳会

こだわりを捨てる空は広くなる

兵頭チヨカ

泣いて笑って人の支えに甘え生き

水野すみこ

生きてみて親の人生強かった

熊本 忠真

余すことなく使い切りたい人生譜

山本 節

じつくりは無理いられさく後悔いる

菅原 由紀

じつくりと行こう余生は上り坂

渡辺 光男

感激抑え平気な顔でインタビュー

中城 英雄

懐は少々寒いがでも平気

若宮 賢敬

OB会悠々自適の勇士達

宇都宮 忍

月一句会笑顔が揃う憩いの場

木村 貞子

十分で済む会酒が待っていた

宮川 柳酔

会釈したあの人名前誰だっけ

川添 忠昭

高齢化会員一人二人減り

大崎 五葉

会者定離卒寿の坂をマイペース

山本 雅之

## 鬼北の足跡をたどる【第1回】



### 等妙寺木造菩薩遊戯坐像に新発見

国立博物館三会場を巡回している特別展『最澄と天台宗のすべて』に展示するため、九州国立博物館にて等妙寺木造菩薩遊戯坐像のX線CTスキャン調査が実施されました。文化財へのX線CTスキャンは、損傷の有無や内部構造を確認するためのレントゲンのようなものです。調査の結果、像内の頸部（首の部分）に高さ五・二センチの木製八角五輪塔の内部には仏舍利（釈迦の遺骨とされる）を見立てた金属を含む一〜三ミリの粒状物質が納められていることも分かりました。

像本体は、等妙寺開山を遡る鎌倉時代前期（十三世紀前半）の造像とされ、岩座は室町時代の応永三十四年（一四二七）に修理されています。九州国立博物館によると、舍利を中に納めた八角形の五輪塔は珍しく、像の造立や伝来の背景を知る手掛かりとなる貴重な発見とのことで、今後の調査が期待されます。

なお、四月十二日から五月二十二日まで同特別展京都会場にて展示されています。



▲等妙寺木造菩薩遊戯坐像内で見つかった木製八角五輪塔イメージ図